

系統別殺虫剤の分類(参考資料) ※IRACコードは、主に該当するコードです。

ジアミド系 28

- ・主にチョウ目害虫に効果があります。
- ・効果の発現が早く、確実な効果が期待できます。
- ・主に食毒剤です。

フェニックス顆粒水和剤・プレバソンフロアブル  
ベネビアOD

合成ピレスロイド剤 3

- ・アブラムシ・アザミウマ・ヨトウムシ・アオムシ  
コナガ・コナジラミ類・ダニ類 等、幅広い殺  
虫スペクトラムと即効性を持つ剤です。
- \* 連用による抵抗性がつきやすい。
- \* 抵抗性害虫に注意。
- ・接触食毒剤です

トレボン・ガードベイトA・アグロスリン

BT剤 11

- ・ヨトウ・アオムシ・タバコガ・コナガ等、チョウ目と  
言われる害虫に効果があります。
- ・菌が産出する毒素で殺虫活性を示します。  
蚕毒が強いので注意して下さい。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能です。
- ・主に食毒剤です。

トアローCTフロアブル・ゼンターリ顆粒水和剤  
エコマスターBT

IGR剤 7.15.16.17.18.23

- ・害虫の成育を阻害する剤です。
- ・主に接触食毒剤です。

カスケード乳剤・マトリックフロアブル  
アフームエクセラ顆粒水和剤(混合剤)

微生物剤(害虫)

- ・アザミウマ・コナジラミ類(施設栽培)
- ・糸状菌を利用し、虫体にカビをはびこらせ死滅さ  
せます。
- ・JASが定める「有機農産物生産」に使用可能で  
(農薬散布回数に「カウント」されません。)
- ・接触剤です。

気門封鎖

- ・ダニ類・アブラムシ・コナジラミ等の微小害虫が  
対象となります。
- ・虫体の気門を封鎖して、酸素の物理的取り込み  
を阻害し死滅させます。  
抵抗性の発現がありません。
- ・接触剤です。

粘着くん・サフオイル乳剤・アカリタッチ

ネオニコチノイド剤 4

- ・アブラムシ・アザミウマ・コナジラミ等、主に植物の  
樹液を吸う「吸汁虫」に高い効果があります。
- ・浸透移行性が高いです。
- ・主に接触食毒剤です。

アクタラ・ダントツ・ベストガード・モスピラン  
スタークル

有機リン系剤 1B

- ・アブラムシ・アザミウマ・ヨトウムシ・アオムシ等  
幅広いスペクトラムを持つ。全体的な効果は  
合ピレ剤、ネオニコチノイド剤等に比べると「マイルド」。  
スミチオン・エルサン・ダイアジノン

殺ダニ剤 10

- ・主にダニに効果があります。

スターマイトフロアブル・バロックフロブル

マクロライド系 6

- ・ヨトウ・アオムシ・タバコガ・コナガ・アザミウマ・ダニに  
効果を示します。(剤により、対象害虫が違います)
- ・主に接触食毒剤です。

アフーム乳剤・アニキ乳剤・コロマイト乳剤

ピラゾール系

- ・ダニ類対象の剤となります。
- ・主に接触食毒剤です。

ダニトロンフロアブル・ピラニカEW  
サンマイトフロアブル

カーバメート剤 OA

- ・ヨトウ・アオムシ・タバコガ・コナガ、アザミウマ等
- ・主に接触食毒剤です。
- ・有機リン系剤よりスペクトラムが狭いですが、  
パンチ力があります。

ランネット45DF・デナポン粒剤5

その他

- ・ピロール系 13 → コテツフロアブル
- ・ネライストキシシン 14 → パダンSG水溶性
- ・スピノシン系 5 → ディアナSC
- ・プロペニルオキシフェニル UN → プレオフロアブル
- ・ピリジンカルボキサミド 29 → ウララDF
- ・フェニルピラゾール 2 → プリンスフロアブル
- ・イソオキサゾリン系 30 → グレーシア

\* 作物登録内容を再度ご確認ください。  
\* 分類・商品名等は、一部抜粋です。  
ご承知おきください。